

令和2年度 学校経営計画（高等学校版マニフェスト）

学校番号	学 校 名
25	大垣養老高等学校

学校教育目標	<p>「質実剛健・自主創造」の校訓のもと、生徒の将来の自己実現と幸せな人生を願い、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かで、自立と共生をもって地域に生きる有為な人材を育成する。</p> <p>＜育てたい生徒の姿＞</p> <p>(1) 明るく、元気な挨拶ができ、身だしなみを整え、規律ある言動ができる生徒【外見】</p> <p>(2) 感謝の心、人のためになろうとする温かい心と忍耐力をもった生徒【内面】</p> <p>(3) 選択力を身に付け、自らの選択に対して自己責任のとれる生徒【責任感】</p> <p>(4) 自ら学ぶ姿勢を大切にし、創造性とチャレンジ精神をもった生徒【積極性】</p>	
＜教育指導の重点＞ 今年度の具体的な重点目標	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策	達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 授業改善に努め、生徒自らが学び考える授業を実践し、主体的に学習に取り組む生徒を育てる。	<p>① 個に応じた指導に努めるとともに自主学習ノートを導入し、家庭学習時間の確保と基礎学力の向上を目指します。</p> <p>② 積極的な公開授業や授業アンケート、授業改善に向けた校内研修を実施し、指導力の向上と授業改善に努め、「分かる授業」を実践します。</p> <p>③ 総合的な探求の時間、課題研究等における知的財産教育、地域と連携した商品開発等を通して、産業人として必要な創造力、実践力、活用力の育成に努めます。</p> <p>④ 新学習指導要領の求めにある主体的な学び、対話的な学び、深い学びの実践に向け、研究を深めます。</p>	<p>① 定期的なノートの点検と、基礎学力テストの結果推移により判断します。</p> <p>② 生徒による授業アンケートを実施し、「分かる授業」の達成度90%以上を目標とします。</p> <p>③④ 主体的な学びの成果をルーブリックを活用して評価します。</p>
2 キャリア教育を推進し、生徒の自立のために必要な取組を積極的に実践し、魅力ある学校づくりに努める。	<p>① 社会的、職業的自立に向け、全校共通の基礎学力テストに取り組みます。</p> <p>② キャリアパスポートの作成を通じて、学びの履歴を積み重ねながらキャリア形成に努めます。</p> <p>③ キャリア教育を意識し、各学科、各系列で目標を定め、生徒とともに高い進路目標が持てる様に資格取得率の向上を目指します。</p>	<p>① 全校共通の基礎学力テスト結果の推移により、学力の定着度を判断します。</p> <p>② キャリアパスポートの点検により判断します。</p> <p>③ 各種資格の取得率を各学科、各系列で定めた目標に照らし評価します。</p>
3 他者を尊重し、生命を大切にすることを実践し、規範意識や品位を備えた心豊かな生徒を育て、“人権文化あふれる学校づくり”に努める。	<p>① 豊かな心、生命を大切にすることを育むため、「生きた教材」の活用を努めるとともに、人権、情報モラル、性教育、交通安全に関する講話（LHR）を実施します。</p> <p>② 社会性を身に付け、TPOに応じた行動がとれる生徒を育成するため、挨拶や言葉遣い入退室のマナー指導を充実します。</p> <p>③ 各教科・科目の目標に人権教育の目標を位置づけ、人権感覚を意識した授業に取り組みます。</p>	<p>①③ 生活アンケートや教育相談、生徒による授業評価をもとに、学校生活の充実・満足度を評価します。</p> <p>② 学校評議員、PTA、地域からの学校評価を指標とします。</p>
4 地域連携に加え国際理解教育を推進することにより、コミュニケーション能力とグローバルな視野を身に付けた生徒を育てる。	<p>① コミュニケーション能力を身に付けるため、インターンシップ、奉仕活動、出前授業など地域と連携し、学校施設では実施できない教育活動を実施します。</p> <p>② グローバルな視点で地域に貢献できる産業人を育成するため、シンガポール・マレーシアへの海外体験研修を行い、現地の学校・学生との交流や専門分野の研修を行います。帰国後は、全校での報告会を実施します。</p>	<p>① 生活アンケート、連携先からの評価を指標とします。</p> <p>② 帰国後報告会の内容とアンケートにより、研修の意義や成果を評価します。</p>
5 部活動、生徒会、農業クラブ、家庭クラブ、商業クラブ、Sクラブで生徒が主体となる活動を創出し、活力ある学校づくりに努める。	<p>① 球技大会、体育祭、大養祭など生徒が主体となり企画・運営する学校・生徒会行事を充実します。</p> <p>② 生徒会、農業クラブ、家庭クラブ、商業クラブ、Sクラブ、MSリーダーズ活動など、生徒が主体となり地域と連携し、地域に貢献できる活動に取り組みます。</p> <p>③ 部活動を精選し、職員が生徒と向き合う時間を確保するとともに、活動時間の適正化を図り、部活動の活性化に努めます。</p>	<p>① 生徒や保護者によるアンケート等でその達成度を把握します。</p> <p>② 地域の声や生徒の活動報告書等により、評価します。</p> <p>③ 部活動実施報告書による活動日数、時間及び大会結果を指標とします。</p>

